

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2021年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務			作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	
工期	令和3年11月1日 ~		令和4年3月31日	作成者	鈴木悠平	
作業名称	集水ます補修		作業手順書	作成年月日	令和3年11月1日	
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	コンクリートカッター、サンダー、ハンマードリル、			改正年月日		
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	テラスサンダー、ライト、鉄筋3m×2本、MKクリート4体、エレホン、鉄筋アンカー、石頭ハンマー			現場責任者	自筆サイン	
	スコップ、水平器			協力会社	会社名	
保護具	ヘルメット、手袋、安全帯、保護眼鏡、防塵マスク、			作業順序	1	現地確認
					2	墨出し
			3		削孔	
			4		アンカー、配筋	
			5		ブロック配置、立ち上げ	
			6		後片付け	
			7			
			8			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す				協力会社責任者	自筆サイン	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	①作業責任者 1人、②作業員 2人、		合計 3名			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日	令和3年11月1日		
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)					

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○△、△〇	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知					十分に訓練をした対策が必要

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						(防止対策)

現地確認									
	(①) 作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	(①) 周辺安全確認	構造物の確認							

準備作業									
	(①、②) ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	(①、②) 車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							

墨出し									
	(①、②) ブロック、鉄筋位置を確認し、墨出しする。	ブロックのジョイント箇所マーキングする。	ブロックを下ろす際、手を挟む	△	△	△△	3		手袋着用し、周囲を明るくする

削孔									
	(①、②) マーキングした箇所をハンマードリルで削孔する。	アンカーを設置深さまで削孔する。	ハンマードリルで手を損傷する	△	△	△△	3		両手でしっかりと持ち、体制を整えて削孔する。
	(①、②) マーキングした箇所をハンマードリルで削孔する。	削孔内の粉塵を除去する。	粉塵が目に入る	△	×	△×	4		保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

アンカー、配筋									
	(①、②) 鉄筋をサンダーを使用し、適当な長さに切る	手袋着用する。	キックバックし、手を切る	△	×	△×	4		姿勢を整え、安定した場所で作業する。
	(①、②) 鉄筋、アンカーを打ち込む	手元を注意する。	石頭で誤って手を打つ	△	△	△△	3		現場を明るくし、手元を確認できるような作業する。

ブロック配置、立ち上げ									
	(①、②) エレホンで漏水している箇所を埋める	すぐに固まるため、取扱注意	粉塵が目に入る	△	△	△△	3		保護眼鏡、防塵マスクを着用する。
	(①、②) コンクリートブロックをカットする	勾配が急な箇所、ホース付近を適切にカットする。	カッターがキックバックする。	△	△	△△	3		姿勢を整え、安定した場所で作業する。
	(①、②) コンクリートブロックを積み上げる	水平になるよう積み上げ、充てんする。	ブロックを下ろす際、手を挟む	△	△	△△	3		手袋着用し、周囲を明るくする

後片付け									
	(①、②) 車両洗車 道具整備・後片付け	道具の損傷有無確認							